

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

NEWSaka

2016.12
No.14

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝



銀杏並木（清水沢公園）

- 1 銀杏並木
- 2 在宅医療24時間体制1周年を迎えて（佐藤美希医師）
- 3 「地域医療支援委員会」開催
- 4 職場紹介（食養室）、食養室管理栄養士から（7回目）
- 5 看護認定看護師紹介その5（残間由美子 感染管理看護認定看護師）
シリーズ6回目リハビリ室のお仕事
- 6 防火・避難訓練（10/27）
- 7 外来診療案内
- 8 インフォメーションほか

病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、
共感・協同・平等・安全の
医療をめざします。



在宅医療24時間体制

1年が過ぎて

患者さんたちから頂く「人生の物語」を
励みに、豊かな在宅医療を提供して
いきたい

在宅科科长 佐藤 美希



1周年を迎えて

2015年9月から当クリニックの在宅部門が24時間体制となりました。

長年、日中に比較的状态の安定した通院困難の患者様を中心に訪問してきましたが、医療依存度が高い、状態が不安定、終末期である、そのような方の在宅療養の受け皿にもなるため、昨年より受け入れ疾患を問わない24時間体制の訪問診療チームを開始いたしました。

在宅で最期まで過ごすことも可能となり、急性期治療が必要な場合は坂総合病院での対応可能であり、様々な状況に応じ、ご本人・ご家族の希望に沿いながら対応しています。

それぞれに、それぞれの生活や人生が

在宅医療を通して感じることは、それぞれに、それぞれの生活や人生があることです。

50代の女性は、自宅で娘さんとご主人と暮らしていました。自分の介護により娘さんが仕事を続けられなくなることが心配で、入院するかどうか悩みながら過ごしていました。みんなで話し合い、彼女が亡き後も、在宅チームで娘さんが仕事を続けられるよう支えていく約束をし、彼女は最期まで自宅で家族と過ごすことを選びました。娘さんには手料理を教えていました。現在でも娘さんは、仕事をがんばって続けています。70代の男性は、奥様と娘さんに支えられ、ご自宅で永眠されました。ご自宅に何うと、最期の時を、娘さんが産まれた頃や、お仕事で活躍されていた頃の

写真を壁一面に貼っていて、一枚一枚思い出をお話しながら貼ったことをお話してくれました。40代の女性は、まだ小さなお子さんがいて、退院してきたときに「してほしいことがあるのではなく、してあげたいことがたくさんあります。」と話してくれました。お子さんたちのテレビを見る音、学校での様子、

何かをおねだりするような他愛の無い会話の中で、最期まで生きる姿をお子さんたちに見せながら旅立ちました。70代の女性は、退院することに不安を強く感じていましたが、退院後ご主人と迎えられないかもしれない結婚記念日のお祝いの旅行に何度も行きました。退院後、体調の改善もあり、よい旅行を続けながら結婚記念日を迎え、その後ご主人、息子さんたちに囲まれながら旅立ちました。

私たちの財産

私たちの人生に物語があるように、疾患や障害を持ちながらも生きていく患者さんやご家族にも、それぞれの人生の物語があります。私たちは、在宅医療の側から、その物語の一端に加えてもらったり、黒子として支えさせてもらったりしながら、非常に多くのことを学んだり、気づかせてもらったりしています。その一つ一つが、私たちの財産になっています。

24時間で在宅療養生活を支えるというのは、簡単なことではなく、スタッフ一同協力しながら続けています。当在宅部門のスタッフは、持ち前の笑顔と明るさで、ご本人・ご家族を支えていきたい、一肌脱ぎたい、と思う優しい心の持ち主であり、お互いがお互いの支えになれることが誇りです。これからも、時々患者さんたちから頂く「人生の物語」を励みに、豊かな在宅医療の提供を続けていきたいと思っています。



健康まつりでの在宅室の模擬店は好評でした！

在宅診療の様子

「地域医療支援委員会」開催

地域医療連携室課長 金山 直大

10月21日坂総合病院教育ステーションにて地域医療支援委員会が開催されました。

はじめに、内藤孝院長から、全国や宮城県で地域医療構想が策定されており地域ごとの必要病床数の再編が進められている中、坂総合病院はこれまで以上に救急患者、紹介患者を受け入れ地域の登録医の先生方の信頼を一層強めていきたいと開会の挨拶がありました。



業務報告

平成27年度の紹介件数と逆紹介件数実績から地域医療支援病院基準を満たしたことが報告されました。また、紹介でもお断りしてしまう事例があり、主な事由として「症状から入院が必要そうだが現在空床がない時」、「1名体制の診療科で検査・手術中である時」、「紹介される患者さんが透析中の患者さんで、当院の透析が厳しい状況の時」があることの報告がありました。

救急センターの役割検証

平成27年7月以降、救急車の時間外搬入が月20件以上の増となっていること、新規入院患者も同時に増えているとの報告がありました。登録医の先生からの紹介患者のお断りを「0」にするため救急病床の日中使用を検討しており、時間外（先ずは準夜帯）の救急車対応複数化を検討していることの報告がありました。

意見交換

支援委員の先生方より、管内で時間外の診療で対応が難しいのが整形外科と脳外科の疾患の救急患者ですが、坂病院の状況はいかがですか？との質問や、時間外・休日の際の坂病院医師へのコンタクトが取りづらいことへの改善要望がありました。

また病院間連携では、「地域包括ケア病床や療養病床へのご紹介は、急性期治療が落ち着いてからのご紹介をお願いしたい。なるべく引き受けるよう努力しています。」等と他院の先生からご発言がありました。

内藤孝院長からは、高血圧症、高脂血症は直接近隣の登録医さんへ案内していることの報告がありました。

今回から支援委員となっていただいた地域住民の方からは、坂病院の医療活動を知らなかった。心強く思え安心があると感想が出されました。



会議の様子



食養室スタッフのみなさん

管理栄養士5名とセントラルキッチン(配食業者)の調理スタッフで構成されています。入院患者様の栄養管理や食事提供、疾病に関する食事相談業務等を行っています。

《病気回復には栄養状態がとても重要》

病気の治療には栄養管理がとても重要です。例えば、体調が悪くて食欲がなく、抵抗力や体力が落ちている、褥創がある、嚥下の機能が低下し誤嚥性の肺炎を起こしやすい…等、患者様によって様々な症状があります。食事の内容・回数、栄養成分等、患

者様に適した食事の検討をしながら提供しています。また、栄養サポートチームの専従管理栄養士が、栄養状態が悪く、特に栄養管理を必要とする患者様の栄養検討も行なっています。

《最新式の食事提供》

疾病毎の献立は、患者様に喜んで頂ける食事が出るよう、セントラルキッチンと定期的に協議しています。クックチル方式で、HACCP概念を導入した、安全面にもより配慮した食事提供をしています。アレルギー・宗教・嗜好面の配慮などの個別対応もきめ細かく行なっています。

《赤ちゃんからお年寄りまでのお付き合い》

乳児期・就学期・妊婦・社会人・中高年と年を重ねる中で「食」は一生の中で変化していきます。私達は疾病に関する食事相談の他にも、それぞれの年代に沿った栄養講話も行なっています。患者様や地域の皆様が安心して健やかに暮らせるよう、日々の研鑽をつみながら明るく病棟・外来・を駆け回っています。

坂総合病院食養室 管理栄養士から

管理栄養士 鈴木 亜紀

第七回

～鉄分をとって貧血予防～

貧血とは？

貧血の原因の大部分は鉄分不足です。体中に酸素を運ぶ働きがあるヘモグロビンの量が少なくなり、体中が酸素不足に…。



貧血の症状とは？

- ◆脳が酸素不足になると …… 立ちくらみ、めまい、失神
- ◆筋肉が酸素不足になると …… 肩こり、疲れやすい、だるい
- ◆心臓が酸素不足になると …… 息切れ、動悸、胸痛



《貧血を予防するためには？》

- 必要なエネルギーを摂りましょう
⇒食事が減少したり、エネルギーの不足は貧血をさらに悪化させます
- 鉄分を多く含む食品をとりましょう
⇒植物性食品：ひじき、大豆、小松菜、ほうれん草、納豆など
動物性食品：豚レバー、牛もも肉（赤身）、あさり、しじみ
- 緑茶・コーヒー・紅茶等は飲み過ぎないようにしましょう
⇒これらに含まれるタンニンには、鉄の吸収を妨げる働きがあります

鉄分不足により起こる貧血の原因は、食生活の乱れにあります。例えば、朝食を食べない・間食が多い・インスタント食品をよく利用する・ダイエットをしているなど…。心当たりのある人、鉄分不足になっていませんか？ バランスの良い食事にしましょう。

サプリメントなどもありますが、**基本は野菜で鉄分摂取を心がけましょう！**



【お詫びと訂正】11月号の4ページ掲載の記事に誤りがありました。

・「臨床工学室」職場紹介の臨床工学師→臨床工学士 ・「アブレーション（植込み型除細動器）」→「アブレーション（心筋焼灼術）」に訂正し、お詫び申し上げます。





感染管理看護認定看護師のご紹介

ばい菌は 手洗いでブロック

医療安全センター感染制御室室長
感染管理看護認定看護師

残間由美子

一念発起して感染予防領域の認定資格取得

10年前、当時脳神経外科の師長だった私は、脳神経疾患の主病ではなく人工呼吸器関連肺炎で重症化していく患者様の合併症をなんとか予防できないかと思い、学習を進めていました。その時看護ケア上の疑問に答えてくれたのは、米国疾病対策センター（Center for Disease Control and prevention : CDC）から1997年に発行された「院内感染予防のためのCDCガイドライン」でした。当時日本独自のガイドラインは存在しておりませんでした。

このことをきっかけに、一念発起して感染予防領域の認定資格を取得しました。

現在は、副院長をセンター長とする医療安全センターに所属し、感染制御の担当室長として専従で活動しています。上記のような医療関連感染の発生を未然に防止すること、感染症発生時は拡大しないように制御することを通して、患者・職員の安全を確保することを目的に活動しています。具体的には、

感染症発生を早期発見するためのサーベイランスを実施すること、標準予防策をはじめとする感染防止対策が提供できるように、マニュアルを整備すること、マニュアルを遵守できる職員を育成することです。このような感染管理活動を行うために、諸組織をシステム化し、その組織が有効に機能できるように感染管理プログラムを作成してきました。

誰もが感染予防行動ができている状況を作ることが課題

感染管理システムは概ね整いました。しかし、手洗いをはじめとする感染予防策の遵守は、一人ひとりの行動変容が鍵です。医療処置・ケア前後の手指衛生、个人防护具（マスクや手袋）の着用、咳エチケットなど日頃のケアプロセスに、標準予防策が取り入れられ、誰もが自然と感染予防行動ができている状況を作り上げることが今の課題です。

感染性微生物を体内に運ぶ主な経路は「手」です。手洗い・手指消毒を必要な場面で適切に行いましょう。



心臓リハビリテーションチーム

リハビリというと、骨折後や脳卒中の患者さんへの手足の訓練を想像すると思います。心臓リハビリテーション（心リハ）は心筋梗塞や狭心症、心不全などの患者さんに対して行なうもので、最近注目を集めている分野です。

心リハは心臓病の患者さんが低下した体力を安全な方法で回復させ、精神的な自信を取り戻し、社会や職場に復帰し、さらに心臓病の再発予防を目指して、運動療法・生活指導・栄養指導などを行なう総合的なプログラムです。

シリーズ

さまざまなリハビリテーション

第6回 「心臓リハビリテーション」
って知っていますか？

心臓リハビリテーションチーム
理学療法士 心臓リハビリテーション指導士
大関 祥子

坂総合病院には5名の心臓リハビリテーション指導士（医師2名・看護師1名・理学療法士2名）が在籍。心リハ指導士を中心に、入院中から外来の方まで運動療法、生活指導などを行なっています。



CPX（心肺運動負荷試験）の風景

日常的に防火・防災意識 持ちながら業務を！



消火栓で初期消火

10月27日（木）の午後、50名以上の職員が参加し、今年度第2回目の病院・クリニック合同の「防火・避難訓練」が実施されました。ニッタン株式会社とアサヒファシリティーズのご協力をいただきました。

目的・想定は

日勤帯に8階病棟から出火

「防火・防災マニュアル」に基づいて、通報・初期消火・避難誘導を行ない「総合訓練」の基本的理解を深め、火災発生時の行動について認識する機会とすることを目的に実施されました。

今回は、8階病棟西南側ラウンジから日勤帯での出火を想定しての対応訓練でした。

訓練スタート



職場指揮者が行動指示



かけつけ支援者が護送し避難



非常階段で3階ベランダまで避難

13時30分に訓練参加者はセミナー室に集合し訓練内容を確認し、それぞれ担当配置につき13時45分に訓練スタート。

8階病棟の煙感知器が作動し、防災室より『8階で火災のベルが鳴りました。確認のため次の放送をお待ちください。』の放送が。

8階病棟では、勤務中の看護スタッフが、まず火元を確認し、職場指揮者が指示し、消火器そして消火栓での初期消火、火事ぶれ、救助に駆けつけた職員により、模擬患者（職員）を護送し非常口から3階ベラン

ダまで誘導し避難しました。同時に、防災室では緊急通報装置で消防署への通報訓練（手順の確認）が行なわれました。

「消火器操作訓練」

次に、3階ベランダで「消火器操作訓練」が行なわれました。

ニッタンの方から消火器の操作方法について、ていねいに説明



消火器操作方法の説明



消火器放水訓練

していただき、実際に15名が放水訓練を体験しました。

総 評

訓練を継続し万が一に備える

最後に、防火・防災委員長の小幡篤副院長があいさつしました。『改めて、各職場のどこに防火シャッターがあるのか消火設備状況など確認していただきたい。訓練を継続し万が一に備えていきましょう。』と述べ終了しました。



小幡副院長が総評

参加者の感想

◆ 久しぶりに参加して、避難で非常階段を使用することや場所を知ることができて勉強になりました。消火器も使用してみて消火できてよかったです。

坂総合病院（本院）

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	午前	○			○	○		
	午後					○		
神経内科	午後	○						
消化器科	午前	○	○	○	○	○		
リハビリテーション科	午前		○	○	○	○		
	午後	○						
末梢血管外来	午前	○	○					
甲状腺外来	午後		○診療日隔週					

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

総合病院 院長 内藤 孝 電話 022-365-5175 (代)

坂総合クリニック1号館

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
外 科	午前	○	○	○	○	○		
腎臓内科	午前			○				
整形外科	午前	○	○	○				
	午後	○		○				
泌尿器科	午前	○	○		○	○	○診療日隔週	
形成外科	午前	○		○			○診療日隔週	
	午後		○			○		
耳鼻咽喉科	午後	受付13:00～16:00		受付13:00～16:00			受付8:30～11:30	
産婦人科	午前	妊婦健診～11:30迄	妊婦健診～11:30迄	妊婦健診	妊婦健診	妊婦健診～11:30迄	○	
		○11:30迄	○11:30迄	○11:30迄	○	○		
	午後	○				妊婦健診		
精神神経科	午前	○	○	○	○	○	○診療日12/17予定	
	午後			○		○		
眼科※1	午前	○11時迄	○	○		○	○診療日隔週	
	午後		○診療日隔週	○	○			
皮膚科※2	午前		○			○	○診療日隔週	
	午後		○14:30～16:00			○14:30～16:00		
血液科	午後		○			○		
禁煙外来	午後			○診療日隔週				
＜各科外来受付時間＞								
●午前 新患8:30～11:30 再来8:30～11:30		●午後 予約制となっています						

※1 眼科の診療は医師体制上の都合により、予約以外の診察をお受け出来ない場合があります。ご了承願います。

※2 皮膚科の診療は医師体制上の都合により、予約外の方は緊急性のある方以外はお受けできません。ご了承願います。

坂総合クリニック2号館

※内科一般外来は午前のみの診療となります（午後は休診となります）。

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後							
糖尿病代謝科	午前	○	○	○	○	○	○診療日隔週	
	午後	○	○		夜間外来			
循環器科	午前	○	○	○	○		○月1回	
	午後		○		夜間外来（高血圧）	ペースメーカー外来 診療日隔週		
呼吸器科	午前	○		○		○	○月1回	
	午後	○	○	○		○		
緩和ケア科	午前		○		○			
漢方科	午前	○	△	△		○	○月2回	
	午後	○	△	△	△夜間外来	○		
高脂血症外来	午前			○				
心臓血管外科	午後			○		○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後	予防接種 受付13:30～14:30		育児検診				

●当院の外来は全面予約制ですので、来院前にお電話下さい。漢方は診療変更が多い日を△にしています。

電話番号：予約コールセンター 022-361-8288

*12月30日～1月3日まで年末年始休診となります。

電話予約受付時間：平日8:30（小児科のみ8:00から開始）～16:30、土曜日8:30（小児科のみ8:00から開始）～11:30

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

坂総合クリニック 所長 小幡 篤 電話 022-361-7011(代)

お知らせ



病院外来が新しい
看護体制となりました

病院外来看護師長 安孫子陽子

病院外来が11月に新しい看護単位として開設されました。

と、いうと「あれ？病院外来って今までもあったでしょ？」と思いますよね。

救急病棟開設にあたり、外来看護部門も再編があり、病院外来機能を担う単独部署を作ることになりました。

病院外来は、病院処置室、紹介外来（外科系は除く）、脳外科外来、リハビリ外来を担当しています。

病院処置室では、採血、点滴、注射など外来処置を行います。毎日たくさんの患者様の採血や検査時の点滴針挿入を行なっています。また、点滴室

は日帰り手術（主に大腸ポリペクトミー）の患者様の回復室としても利用しています。

紹介外来では、地域からの紹介状持参の患者様を診察します。他に同エリアで診療をしている、消化器外来、肝臓外来、抹消血管外来、神経内科、内科、も担当しています。

病院外来は、患者様が病院を見る最初の部署

私たちは、病院の最初の印象になる看護部署として、笑顔と優しさと確かな技術で対応できるようにしたいと思います。病院外来メンバーは、看護師7名、看護クラーク3名、計10名でスタートしました。今まで外来エリアにいた経験豊富なメンバーばかりです。師長の私が内視鏡看護師歴が長く不慣れな分をメンバーに指導されています…。今後ともよろしく願います。



病院処置室の様子

地域医療連携センターから

○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
2016年7月	668	736
8月	745	765
9月	660	762
10月	675	833

（坂総合病院、クリニックの合計数です）

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

●平日／8時30分～17時 ●土曜日／8時30分～12時30分

TEL 022-361-4700

※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

TEL 022-361-8288

平日（月～金）：8時30分～16時30分

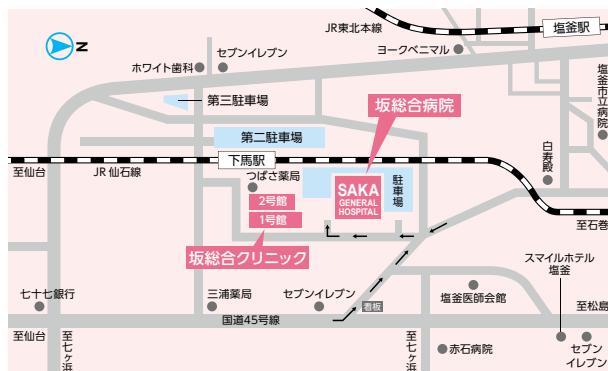
（小児科のみ8時から開始）

土曜日：8時30分～11時30分

（小児科のみ8時から開始）

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。

※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院代表番号にお電話をお願いします。



●電車をご利用の場合

JR仙石線・下馬駅下車（駅前が病院です。）

●お車をご利用の場合

以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力お願いいたします。

編集後記

遠くの山々を眺めると稜線が白く見えます。わが家の柿の木の葉っぱもあと2枚だけになりすっかり裸木になってしまいました。寒い日が続いていますが、インフルエンザなんか罹っていませんか。年の瀬も押し詰まってきましたが、様々な物騒な事件・事故が毎日世間を騒がせています。そんな慌しい日々の中ではありますが、今号ではシリーズで読者のためになるような企画はじめ様々な諸行事を中心に掲載させていただきました。どうぞ、手にとってご覧いただければ幸いです。（1）

公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5

電話 022-365-5175（代表）

FAX 022-365-3620

<http://www.m-kousei.com/saka/>

